

(2) 2年生指導内容(例) (3, 4)校時 ※朝鮮出身者の場合

過程	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 点
導入	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外に目を向け、様々な民族や文化を持つ人々がいることを、社会や英語の授業を振り返りあらためて思い起こす。 ・そのような異なる民族や文化を持つ人どうしが、どのように付き合っていくことがよいか考えるよう問題提起する。 	5分	<p>昨年の人権学習の歩みを振り返らせ、今年は様々な民族や文化を持つ人々がともに生きる社会について学ぶことを伝える。</p>
展開	<p>(1) ()さんとの出会い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ()さん個人のこれまでの活躍、夢 ・現在の朝鮮半島の様子。人々の思い。特に、日本に対するコリアンの方々の感情。思い。特に、若者たちの思い。 ・これからのコリア(南北とも)と日本の未来に期待することなど。 <p>(2) ()さんとの対話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ()さんに質問をしたり、李さんからの質問に答える。 	70分	<ul style="list-style-type: none"> ・ チマ チョゴリを着ていただくよう要請中。また、朝鮮の楽器や民芸品などがあれば持ってきていただくようお願いもしてある。 ・ あらかじめ質問を考えさせておくとよい。
終末	<ul style="list-style-type: none"> ・各クラスへ戻り、担任(または副担)がそのクラスの課題や、気になる生徒への励ましや課題と結びつけて総括する。 ・「出会い」の授業を通して学んだことから、自分や学級、学校の課題と結びつけた感想を書かせる。 	100分	<ul style="list-style-type: none"> ・「…な社会なればいいなあと思います」的な他人事ではなく、自分の課題と結びつけた「綴り」を引き出したい。
評価	<ul style="list-style-type: none"> ・異なる民族の「人」や異なる「文化」との出会いに、興味を持って臨むことができたか。 ・異なる民族の「人」や異なる「文化」を「同化」させるのではなく、たがいに尊重し、ともに生きることこそが「豊かな社会」のあり方であるということが理解できたか。 ・この授業での「学び」を日々の生活に生かす具体的な方向性を見出すことができたか。 		

